

若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム（非英語圏）

（ITP-EUROPA）委員会

（2009年度第4回）議事要旨

1. 日 時 2009（平成21）年7月16日（木）9:00-10:30
2. 場 所 本部管理棟2階 小会議室1
3. 出席者 委員長、委員（宮崎、富盛、岡田、和田）
佐久間研究協力課長、細谷国際交流係長、宮下国際交流係員
4. 配付資料
 1. 若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム（非英語圏）（2009年度第3回）議事要旨（案）
 2. ITP-EUROPA2010年度派遣若手研究者募集要項（案）
 3. TUFSS-ITP-EUROPA ホームページ（案）

5. 議 題

（1）前回議事要旨（案）について

資料1に基づき、成田委員長より、説明と内容の確認があり、これを了承した。

（2）2010年度派遣若手研究者の募集について

資料2に基づき、成田委員長より、2010年度派遣研究者の募集要項（案）について説明があり、審議の結果、以下について修正の上これを了承した。

<募集要項>

- ・ 公募日付
「2009年10月」を「2009年9月」とし、9月の研究科教授会において募集のアナウンスを行う。
- ・ 4. 申請資格等
「博士前期課程在学者」及び「(ポスドク、助教)」を削除し、「博士後期課程在学者及びその他本学に在籍する若手研究者」とする。
- ・ 7. 対象派遣機関
説明については「本学協定校及び交流実績があり、共同博士論文～可能な研究機関」とし、(1)及び(2)の区別をしない。
ボローニャ大学の所在地は「ローマ」から「ボローニャ」に修正。
注意書きとして、「上記以外の機関への派遣を希望する場合は、指導教員と相談の上、下記提出先に問い合わせること」を加える。
- ・ 11. その他
個人情報保護に関する記述を加える。

<願書>

- ・ ⑤ 「博士後期課程在学者は専攻と学年次、学生以外の場合は所属と身分」とする。
- ・ ⑪ 分野名、研究テーマともに「欧文」表記を加える。
- ・ ⑭ を新設し、「上記以外により、奨学金、研究資金等を受けている場合はその資金名と受給期間：」とする。

・ 5. 学業成績証明書

(大学学部卒業見込み者は出願時点での)を削除する。

なお、公募の周知方法については、9月の研究科教授会において ITP-AA と同時アナウンスを行う他、ホームページでの公開及び kyouin-all での通知を行うことが確認された。

(3) ITP-EUROPA ホームページについて

資料 3 に基づき、成田委員長より、ITP-EUROPA ホームページの各項目掲載案について説明があり、審議の結果、以下を修正の上これを了承した。

<海外パートナー機関>

- ・ 募集要項同様、1 と 2 の区別を外す。
- ・ エクス・マルセイユ第一大学について、(2008 年学位論文共同指導協定締結) とする。
- ・ ボローニャ大学について、(2009 年共同学位協定締結) とする。
- ・ ヒルデスハイム大学について、(2009 年学位論文共同指導協定締結) とする。

<派遣若手研究者一覧>

- ・ 派遣先指導教員欄については、日本語表記/英文表記(所属機関名)で統一する。

なお、和田委員より、大学広報担当者として、ホームページ作成にあたっては本学トップページで使用している基調カラー(ブルー)を可能な限り使用願いたいとの要望があり、現行案からの変更の可能性について、委託業者に問合せを行うこととなった。

(4) 次回 ITP-EUROPA 委員会の開催について

12月の来年度派遣研究者公募〆切後に日程調整を行うこととされた。

以上